

なくそう原発3・12飯水岳北のつどい

☆日時 3月12日(土)午後1時30分～3時30分

☆場所 いいやま女性センター未来 交流室

☆ 講演 菊池和子写真展とスライドトーク

フクシマ漂流 はつづく

地震・津波・福島第一原子力発電所爆発事故から4年目の福島に行く

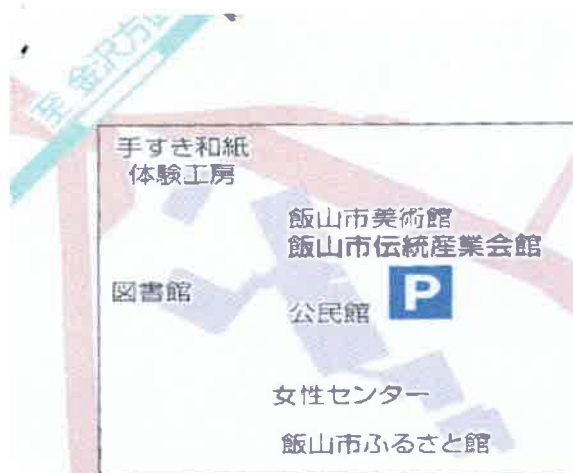


「5年の仮設暮らしは、犬にも限度」

菊池和子

1945年生まれ 東京での小学校教諭のかたわら48歳から夜間の写真学校で学ぶ。54歳で教職を辞し、ポルトガル・リスボン市で6年間暮らす。2008年に帰国し現在に至る。

主な作品：「命の限り-筋ジストロフィーの青年と家族」「チマ：チョゴリの詩がきこえる-在日60余年、今、川崎で老いて」「PORTUGAL-藁色のひざしの中で」「葉脈の街に明日を探して- 釜石レポート」「フクシマ漂流」。母親は飯山市下境出身。



●文化交流館 なちゅら

主催 なくそう原発飯水岳北の会 代表 小林 則夫 ☎ 62-10